

NEWS RELEASE

2018年12月4日

企業会計基準委員会とオーストラリア会計基準審議会の代表者が東京で会合を開催

企業会計基準委員会
オーストラリア会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）とオーストラリア会計基準審議会（Australian Accounting Standards Board; AASB）の代表者は、2018年12月4日に、本年2回目の会合を東京で開催しました。

会合では、ASBJ と AASB の両方が、お互いの財務報告制度や活動の最新の状況を説明するとともに、開示に関する取組み、経営者による説明、無形資産、のれん及び減損、共通支配下の企業結合、割引率、仮想通貨など、両者が関心のある技術的なテーマについて議論を行いました。

ASBJ と AASB は、引き続き、意見交換を続けていく予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回、東京でAASBとの会合を開催する機会を得られたことを大変喜ばしく思う。今回の会合では、国際的に関心の高いテーマについて、建設的な議論がなされた。今後も、高品質な財務報告の開発に貢献するために、両者の間での実りある意見交換が継続されることを期待する。」

クリス・ピーチAASB議長は次のように述べています。

「ASBJとの東京での会合の機会は、両者が共通の関心を持つ事項について、前向きかつ有益な議論を継続することを可能にするものであった。建設的な会合を主催していただいたことに感謝を申し上げたい。我々の継続的な意見交換は、高品質な国際基準を開発、公表及び維持するための一助となるものと考えている。」

ASBJ委員長及びAASB議長はさらに、次のように述べています。

「我々は、無形資産に関する財務報告をどのように改善するかを検討するための共同の研究・プロジェクトに関する作業を行う予定であり、無形資産の財務報告に関する現在進行中の国際的な議論に貢献することを期待している。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ (<http://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照いただきたい。

オーストラリア会計基準審議会（AASB）について

AASB は、2001 年オーストラリア証券・投資委員会法の下で設立されたオーストラリア政府の機関である。AASB のビジョンは、資本市場を含むオーストラリア経済と、外部報告に対する関係者の信頼に貢献することである。

AASB のミッションは、次のとおりである。

- 利用者のニーズを満たし、外部報告の首尾一貫性と品質を高めるものとしての、原則に基づくオーストラリアの会計基準及び外部報告基準並びにガイダンスを公表し、これらを維持する。
- 世界で使用される、単一の会計基準及び外部報告基準の開発に貢献する。

AASB に関する詳細な情報は、ホームページ (<http://www.aasb.gov.au/>) をご参照いただきたい。